

仲間と分かち合う



元気と笑顔

10月22日、澄み渡る秋空の下、『第52回健幸こばやし大運動会』が開催されました。

当日は、地域や職場、学校や団体などをつくる52チームが参加。巨大ビーチボールを打ち上げる回数を競う競技や、ラケットにピンポン玉を乗せて走るリレーなど、大人から子どもまで楽しめるレクリエーション6種目が行われ、市民1500人以上が笑顔で汗を流しました。

会場外では、ウォーキング大会や小林高校ウエイトリフティング部による体験会、市と協定を結ぶ東京大学先端科学技術研究センターによる運動能力や性別などにとらわれない「超人スポーツ」の体験会も実施。

その他、市内スポーツ少年団による大縄跳びや「2027日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」の市内実施予定競技であるトランポリンとウエイトリフティングのデモンストレーションも行われ、参加者はスポーツと触れ合う1日を過ごしました。

楽しく体を動かし健幸に秋空にたくさんの笑顔広がる

			1	
	6		5	2
11	7		8	4
	10	9		
				1

PhotoReport 第52回 健幸こばやし大運動会

～スポレク2023～

スポーツのまち小林の一大イベント「健幸こばやし大運動会」。市民約1500人が参加した大会の名場面を写真で振り返ります。

- 1 競技を楽しむ参加者
- 2 3 リングにボールを投げ入れるトラックバスケット
- 4 ラケットでバランスよくピンポン玉を運びリレー
- 5 小林中斉藤元さんが選手宣誓
- 6 50個の玉を入れ終わるまでの早さを競う玉入れ
- 7 じゃんけんの勝敗で距離が変わる大玉転がし
- 8 9 2027宮崎国スポ・障スポで、市内で開催予定のトランポリン競技の模範演技。PRのためにみやざき犬おうちちゃんも登場
- 10 センサー付の刀で勝負する「サッセン」の体験会。東大先端研との連携で開催（超人スポーツ）
- 11 巨大ビーチボールを13人でリフティング

